夕刊
磐城新聞
三月二十日發行
定價 一ヶ月 金五拾錢（郵稅共）
廣告料 五號一行 金六拾錢
發行所 磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）
振替東京一〇八五五六五番

# 現代童謠の趨向

横山青我

三

そして斯道の先覺達も、時代の空氣には遂に勝てないものか、昔日に於ける熱意は既に彼等を去つて、その作る所は概ね第二義的乃至は第三義的に墮せんとしてゐる。白秋にしろ、八十にしろ、又雨情にしたところが、その制作は最早や一個のマンネリズムでなければ、ジャーナリズムの支配下に於ける傀儡にしか過ぎない觀がある。なる程彼等の作品には、先覺者としての巧味があり、それぞれの特色も保つてはゐるけれど、それが根低に於て最も望大なる情勢は何處にも見られないではないか。彼等が遊んで童謠を製作し、創造した昔日の熱意が今何處に在るか生活の方便に、收入の意欲の元にしか彼等は自らの童謠を作つてゐない現狀ではないか。詩と共に童謠を作ることを以て誇りとした彼等が、その獨持はその遊び心は果して何處へ棄てて去つたのか。斯道の大家として、曩日の意氣を目標を喪失してゐるとならば、その發足の狀勢に於て智想である後輩作家が、混沌として無自覺の雰圍氣に今日を生きてゐるのも又止むを得ないでもあらうか

昨今の童謠は明らかにその目標を喪失してゐる。そして唯いたづらに童謠といふ字義に制時せられて、子供の唄といふことにのみ意識を働かせてゐる

と静穩でさゝ浪一つ立つものでない、恰も大人物の如くおつとりとしてゐる、だが淺瀨になると小人の心が動搖してゐるが如くさわがしい。古歌に

そこひなき淵やはさはぐ山川の、淺き瀨にこそ荒浪はたて

## 愁眉

柚原貝二

君やつれなしオリオンの
絃も觸るれば鳴るものを
などか默して貝のごと
寥しき影を引きて去る
かへり見すればそのあたり
おぼろおぼろの花の徑
さても瞼の濡れぬれて
眉はそぼそとくもりけり

## 春雨

珠雲 小野務平

淺碧千林正鐘回
森羅萬象作詩媒
微吟小酌江亭夕
窗外蕭々夜雨來

## 今日の訓へ

哲名 由人

河も底知れぬ深淵になる

3月21日 △春季皇靈祭、春分彼岸の中日△仁德天皇詔して自今三年の間、百姓の課役を免せ給ふ(仁德天皇四)△弘法大師(空海)入寂(承和二)△大阪に稀有の大火(享保九)△ドイツ宰相ビスマルク公爵となる(一、八七一)

3月22日 △詩聖ゲーテ歿す(一、八三二)△汽船の公稱馬力算定法を定む(明治一七)△保險業法公布(同三三)△井上良馨之助歿す(昭和四)

## 句帳から

青喬

開帳や櫻に早き藥師堂
花曇遙かの丘に鳴る太鼓
芽立ちたる桑の結ひ藁解きけり
睿麥を吹き來る風に憩ひけり
春雨や觀光船の着く港

氷心子

春雨や串の小魚を燒く爐邊
春雨や溫泉宿々の傘さして

## 『野麥』原稿募集 四月下旬創刊

□詩 二篇以內
□短歌 十首以內
□俳句 十句以內
□〆切は來る三月末日とす
□必ず原稿用紙を用ゆること
□送り先は 平町四丁目マルトモ書店內『野麥』同人宛
□『野麥』原稿と表記すること

## ばあやの里

島田忠夫

短い紋付
羽織着て
けふはばあやに
お年始だ
霜どけ道の
藥踏んで

門を入れば
梅の花
『あれ、坊ちやま』と
言ひながら
ばあやは庭へ
走り出す
『まあ、父様に
似てくる』と
涙ぐんだり

をかしいな
『早く育つて
誰よりも
お偉くなつて
お呉れ』だと
僕は『はいはい
偉くなり
喜ばせるよ』と
言てやつた

ばあやの家の
お正月
厩舎の前にも
松かざり
うららに晴れた
お空には
凧がしづかに
うなつてる

## 講談 妖刀流轉（ようとうるてん）

(51) 邑井貞吉演 佐々木今朝吉畫

仁者の隱家（十四）

西條縫之進の前に兩手をつかへた若侍

最前より苦痛の爲め挨拶致しませんだが、突然上いたし御親切なるお言葉を頂きお蔭を以てようやく人心地がつきまして御ます、當御當家のなかりせば雪中に凍え死も致すべきところ何とお禮の申しようも御座いませぬ』

と感懃に禮を述べる。見れば見る程美しい男、これぞ前回申上げた廣瀨軍藏

若氣の至りとはいひながら廣瀨は藏女色の爲めに身を持崩し、廓の金に詰まる所から追剝まで働いて大島傳五郎の一味へ引入れられ贋金造りの大罪を犯すようになつた、人間一つ間違ふとどん〳〵惡道へ墮ちて行くもの、當人だつてそれはよくないといふ事は知つてゐなから據なく引づられて深味へはまつて行くので御座います

ところで九月二十六日の晩、いつもの通り秘密の仕事場、例の幽靈屋敷へ來て見ると穴藏の方に當つて御用御用と呼ぶ聲、烈しい物音、これを聞くと軍藏青くなつて了つた、知れまいと思ひの外とうとう手が廻つたか、モウ愚圖〳〵してはゐられない。大島や熊吉は何うなつても仕方がないが自分だけは何卒して逃げたいものと薄情な奴もあるもので、軍藏一目散に幽靈屋敷から逃走をした

それが爲に傳五郎が何うなつたか、熊吉が何うなつたか、軍藏は一向に知りません、兎に角八丁堀の家へ恐々歸つて見たが、いゝ幽靈が出るかも疑り、オド〳〵と餘程の恐怖に襲はれてゐるらしい樣子、然し幽靈屋敷の秘密まで知られたとなると何時御用と聲がかゝるか決して油斷は出來ません。大急ぎで手廻りの荷物をまとめ夜中を幸ひ八丁堀を退散したが何處といつて行く先もない

危い身體になつてゐながら色情の道は又別で、その夜も若梅の許へ立より、そうとはまさか明ら樣にもいへないが、實は仔細あつて少し身體を隱さないと都合の惡い事が出來た。お前にも暫らく逢へないから別れに來たといつたが、落つかない擧動の怪しい所を若梅も見て取つて、扨ては私の爲に何か惡い事をしたに違ひないと察したのは、深い仲だけに又別段でありますその時に若梅が

『若旦那、あなたは何ういふ仔細で江戸をお立退きになるのか知りませんが私は片時も貴方に逢はなければ居られません、何卒私も連れて逃げて下さい』

軍藏が目を丸くして

『ト、飛んでもない事、そんな暢氣な場合で決してないのだ、今にも何ういふ事が起つて次第によれば生命にも及ぶといふところ何卒暫らくの間辛抱をしてお呉れ』

といふ樣子がモウ顏の色にも見えるので、若梅はいよ〳〵只事でないと思つたから、そこばかり涙にくれ

『若そういふ差迫つた場合でありんしたら足手まといの私を連れて驅け落も成りんすまい、片時も傍を離れるのはいやで御座んすが、大切なお前の身の爲とあるからは私も死んだ氣になつて又逢ふ事の出來るまで我慢もして待つて居ましよう何卒身體を大事にして輕はづみな事を呉れ呉れもして下さんすな、それに就て若旦那、あなたは一體何處へ行きなさるお積りで御座んすえ』

廣告

磐城名物 靈峰羊羹（れいほうようかん）
小川郷驛前 平屋賣店

おでん 一平（イッパイ）
電話二六三番

高久病院
院長 高久忠
電話五一三番

酒とマヅイ おでんの榮ちやん
平町田町花ノ里
電話三三番

品質第一
電話二六八番
平牛乳舍
平町・九品寺前

入院隨意（自炊の便あり）
外科専門
X光線科
平町 南町
上田醫院
病室完備
（電話一二九）

毎月一日・十五日謝恩デー
バターはトラピストのバター
品質本位で安く賣る
市川パン店
アンパン 甘食 一ヶ七十錢
食パン 黒パン 一斤拾貳錢 ロシヤパン
カルシユウム入 卵パン十八錢 卵パン十二枚十錢
ミルクパン十二枚十錢 カタパン十
五枚十錢
バター ジヤム は計り賣りが御德用です
御家庭御料理用 バター 百目二十五錢
テーブル用（食卓）バター 百目四十五錢
ジヤム 百目二十五錢

鮫川砂利採取及販賣
砂利 砂 玉石
砂利採取場 川部村沼部 山田村法田 植田鮫川橋下
貨物自動車運搬業、有價證券、株式債券賣買及仲介、商品依托販賣、千代田生命、千代田火災保險代理店
常磐線植田町
植田物産株式會社
取締役 山崎登
電話三一番
各種貨物一般及重量機械類運搬取扱
石城郡錦村中田
植田物産錦出張所
電話（植田）一三五番

産科 婦人科 外科 藥局
入院隨意 病室完備
平町新川町十九番地
木村病院
院長 木村寅次郎
醫學博士 內本宗八
藥劑師 大岩俊雄
電話一六四番

磐城女子洋裁學院
新學期學生募集
卓越せるデザイン教授
ミシン使用無料
材料貸與
新學期開始 四月五日
學則送呈（郵券二錢封入）
平町二丁目二番地

洋裁生徒募集
シンガー洋裁女學院
平町四町大通り
一、洋裁科 貳拾名
一、ミシン科 貳拾名
一、刺繍科 拾名
一、隨意科 若干名
入學規則書進呈
ミシン無料貸與

豆炭、コールタール販賣
一、品川豆炭
大袋 五貫匁入 金七十五錢也
小袋 壹貫匁入 金二十錢也
壹袋カラ配達致シマス、ドウゾ御注文下サイ。
一、コールタール一本（十五キロ入）金九十五錢
一本ヨリ配達致シマスカラ是非御試メシ下サイ。
電話三七番
平驛前
阿部石炭店

中古各種レール鐵管
礦山用機械器具類
製鐵原料問屋
二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達
銅鐵 機械
KS 井尻七三郎商店
出張所 福島縣平町鍛冶町十一 電話五二二番
本店 大阪市南區安堀町三十三番地 電話東五三三四番
支店 呉市藏本通十一丁目一番地 電話二一二〇番
御買上品精々御安く納品致します
御拂下品は精々御高値に買受ます

新築落成
山田屋旅館
植田町 電話八番
藝妓屋 山田家
喜小國の小君一五今愛つ〇
久 ん 太 ぼ
榮丹助き鈴香郎子子み九

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社東油特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店 水戸線下館驛前（電話五五・三三九番）
茨城縣土浦町田宿（電話八六・二五三）
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、胡麻油、種油、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
支店所在地
常磐線開本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
久慈濱支店（電話三七番）
小名濱支店
海上給油所（大津、平潟及江名濱）

# 松ケ岡公園の櫻は　―十二日頃が見頃に候
## けふ町役場から人寄せ状
### 來月の

彼岸も過ぎて花の四月もあと十日、松ケ岡の櫻の蕾も昨今メツキリ膨れ出したので町當局では既報の如く園內のお化粧、懸賞ポスターの募集等『花見る人々へ』のお膳立てこしらへに忙しい、けふは次のやうな『人寄せ状』百餘通に綺葉寄を添ゐ縣內をはじめ東京、茨城、宮城方面の炭礦、驛、官公衙、新聞社其他に發送した

所謂花の平にて美觀東北に冠絶する松ケ岡も四月十二、三日頃より枝曳き頃かと存候、本年も公園前降の臨時列車の外ガソリンカー運轉もあり例の全町のサービス電飾百萬燈も滿山の櫻花を紅、白絢爛の桃源境と化し日毎夜毎に殺到する數萬の雅客を陶醉せしむるに充分かと被存候まゝ聊か自畫讚ながら各方面への御喧傳御吹聽可然及び多數の御誘引御願致し度宜敷く御依頼申上候

## 部落民共同一致で　理想郷建設へ
### けふ川部の部落常會

十一年度經濟更生指定村として着々事業を進めてゐる川部村では既報の如く縣の方針に基いて部落單位の更生策を樹立する事となり目下準備を進めてゐるが先づ同村石畑部落では今二十日午前十時、沼部部落では午後から何れも實行組合長宅に部落常會を開き種々今後の方針其他を協議した、尙この席上吉成郡駐在技手の蔬菜と麥作に關する講演があつた

## 光榮に浴す八名
### 日赤支部の社員總會で　特別社員章御親授

總裁宮殿下の台臨を仰ぎ來月十日福島市教育會館で開かれる日本赤十字社福島支部の第四回社員總會に特別社員章を御親授される平町の社員左の如く出席有資格者は平町に七十名もゐるので町役場では此程夫々出席勸誘の通知をした

鈴木千代吉　横山萬藏　山崎孝之助　志賀盛榮　檜山謙　野崎滿藏　草野央　高柳金三郎

## 二毛作共進會　審査
### 來月賞狀授與式

石城郡農會では縣から係員を招き二十四日午前十時から平團体事務所に小麥經營改善、二毛作事蹟兩共進會の審査會を開き來月十一日の農會記念日をトしこれが賞狀授與式を擧行する豫定

## 凶作五ケ村　苗代品評會

石城郡農會主催で郡下凶作村たる三阪澤渡、永戶、箕輪、入遠野の苗代品評會を催す事となり二十二日午前十時から平團体事務所にこれが主任者會議を開く

## 嚴密調査の上　處置を取る
### 合併反對請願採擇

村民三百餘名の調印を纒めて政府に請願した

一、平町、平窪村合併反對の件

は昨十九日の衆議院請願委員會に於て加藤內務省政府委員より合併に就いては目下內務大臣宛許可を申請して來てあるが合併反對の陳情もあるので當局としては嚴密調査の上適當な處置を取りたい旨の答辯があつて採擇された

## 平商が最入學難
### 愈けふ願書締切

磐城高女ははや濟んで殘る磐中、平商の入學志願者數は各方面からその膨れ行く數字を懸念されてゐたが愈よ今二十日を以て締切つた、正午迄の分は左の如く依然平商が最入學難である

| | 今年 | 昨年 |
|---|---|---|
| 磐中 | 三九六 | 三八二 |
| 平商 | 二四六 | 二三〇 |

## 特別漁業（第三種地曳網）免許
### 漁場は永戶、小玉川

四倉町仲田六五栗原欣次郎氏出願にかゝる特別漁業は此程免許され十七日附登錄された旨縣報で告示された

漁場の位置―永戶村大字永井地內小玉川水面　漁業種類第三種漁業鮑地曳網漁業　漁獲物種類―鮑　クキ　ウグヒ　漁業權存續期間―十ケ年　漁業時期―三月一日―十一月三十日

## 飛豫練習生　第二次試驗
### 横須賀航空隊で

過般平第三小學校で行はれた海軍志願兵檢査に合格の飛行豫科練習生志願者中第二次試驗は來月二十日より二十四日迄五日間横須賀市浦郷横須賀海軍航空隊で行はれるが試驗科目左の如く受驗者は近く詮衡決定する

學科試驗（讀書　數學　雜問　地歷　理科）体格檢査　智能適性檢査

## 消防施設視察

平署管內の消防組頭十餘名は柴田署長、草刈部長と共に二十二日から四日間の豫定で信越、北陸、關東、關西方面の消防施設その他の視察をなす事となつた

## 芝浦製作所　第二次試驗

芝浦製作所の職夫募集第一次詮衡の結果百九名が選ばれ更に來る二十九日郡山市公會堂で第二次試驗を行ふ事となつた

## 中山鐵工指導官來任

平鐵工組合に指導官として派遣される海軍豫備中尉中山止雄氏は既報の如く今月末來任、來月から本格的に軍需製品の指導を開始する

## 藥屋さんの大會
### 來る廿四日谷口樓に　七十餘名參集

石城郡藥劑師會總會は二十四日午後一時から平町谷口樓に開き

役員改選　事業報告　行權確立　縣下藥劑師會への提出事項（平町で開催）

を審議、終つて藥業協會石城支部の總會を開き支部長選擧、本部總會への提出事項、商業組合結成に關し協議するが出席七十餘名に上る見込み、猶當日は縣衛生課高橋技師の講演がある

## 今ぞ味ふ「生」への歡喜
### 豐間燈台沖に展開された
### ‖遭難漁夫救助後報‖

昨報―傳馬船に乘つて十七日の時化に遭ひ半死の狀態で救助された相馬郡新地村濱小野萬七（四八）さんは引續き小名濱漁業組合に收容され手厚い手當てを受けてゐるが飢と寒さのため極度に疲勞しそれに凍傷も甚しいのでかなりの重態である、平署では縣からの照會により同人と共に行方不明になつた實弟の小野六藏（三四）さんの生死について取調べてゐる

危く命拾ひした萬七さんは昨十九日早朝かつちやな傳馬船內に倒れ死を待つばかりになつてゐた處折よく小名濱町中坪太田豐太郎方船頭關根通（四五）君が第二德榮丸（二十トン）に乘つて四倉沖へ向ふ途中豐間燈台沖三浬の處でこれを發見救ひ上げたものである

## 手先きは切斷か

別項―九死に一生を得た小野萬七さんは目下同所會田病院で手當てを受けてゐるが手先きは殆と凍傷のため切斷せねばならぬだらうと云はれ、行方不明にある實弟に就いては

沖合で約百米隔れてゐた遭難する際弟の船は早くも顚覆したのを見たのだから……

と悄然としてゐる、多分駄目だらうと見られる

## 桑樹剪定研究會

蠶業取締平支所では二十一日午前十時から小川村上小川地內桑園で桑樹剪定研究會を開く、縣蠶絲課松本技手出席

## 町の姿を顧る
### 公娼設置と結びつけて
### （1）―市制實施を豫斷す―

明治四十年五月十六日、時の平町會は『遊廓設置に關する伊坂町長の諮問案』を絕對多數で可決した而して其諮問案と云ふのが

―平町に於ける遊廓たる維新後紺屋町に設置せられたりと雖も、彼の娼妓解放令の發布と共に之を廢止し、爾來各地に在りては或は之を繼續し、或は之を新設したるも獨り本町は其機會を逸し延びて今日に至りしなり、抑本町の如きは本郡の樞府縣下の一大雄郷を以て目せられしも戶數二千四百五十、人口一萬五千を有し、特に近時工業熱の勃興と共に諸事業頻りに起り、從つて商賣の來往勞働の出入漸く頻繁なり、之の趨勢により觀察すれば近き將來に於て市たる資格を得るや蓋し空想ならざるべし、町の發展夫れ斯の如し、町民たるもの之を賀すると同時に彌々倍々努力し向上し一大發展を期せざるべからず、然れども一利あり一害の伴ふは古今の常態にして爰に大に憂慮措く能はざる問題あり、これは近時人口の増加と共に彼の最も嫌惡すべき酌婦及び酌婦的藝妓の數、日一日より多きを加へ、滔々として殆ど停止する所を知らざるの勢なるが如し、故に風紀に衛生に其害實に云ふに忍びざるものあり。若し夫れ今にして之が救濟の策を講せず自然の成行きに拋擲せば終に救ふ能はざるの悲境に陷るや明かなり、果して然らば大にしては國家の元氣生産力を減耗し小にしては一家の不和衰退を來すや必然たれば片時たりとも決して忽緒に附すべからざる極めて重要事と云はざるを得ず、今玆に衛生上禍害の事實を擧ぐれば、客年一月より十一月に至る十一ケ月間醫者の治療を受けたる花柳病及び淋病患者實に千二百六十一人の多きあり、之を總人口に比較するときは十一人八分に對し一人の割合に該當す、尙ほ進んで賣藥による患者を調査せば其五割以上を得ろ、蓋し難からざるべし、然らば最も怖るべき害毒は如何にして疫除するを得べきか之れ他なし遊廓設置の一策あるのみと斷言せざるを得ず、彼の娼妓なるものは毎月一回檢黴の規定あるを以て之に接するも比較的病毒に感染せざるや推理上當然の結果なりとす、されば遊廓設置は害毒疫除上唯一の策にして一には衛生を保持し、二には風紀を修正し、三には町の繁榮を來すや智者を待つて知るべきに非ず、故に我町現時の常態に照し遊廓設置は剜下の緊要事たるを認め爰に之を諮問する所以なり

（此項未完）

## 赤井の出齒亀男　勳章お取り上げ
### 顔を潰した田中磯次

年甲斐もなく十六娘に云ひ寄つたがはねつけられたのに憤慨、暴力行爲に及んだ赤井村大字諏訪字原田香川縣生れ日東窯業會社職工田中磯次（四二）は去月二十六日平區中島判事から懲役六ケ月を言渡されたが同人は大正三、四年の日獨戰爭に出征勳八等瑞寶章を授與されてゐたが十九日平檢事局に褫奪された

## 腐爛死体漂着
### 遭難漁夫と判明

去月十三日小名濱港內で傳馬船から轉落行方不明になつてゐた縣指導船乘組員梶原寅吉（三五）は昨十九日午後六時頃腐爛死體となつて同港に漂着したのを附近民が發見平署で檢視、町役場で假埋葬

## 喜多稽古會　追善謠大會

平町喜多稽古會の貢獻者伊藤六兵衛氏の追善謠大會を今二十日午後六時半から同町稽古所で催すが會員四十餘名、盛會を豫想されてゐる

## 木工製作講習終了

去る十一日から平商業校で開かれてゐた平建具商組合の木工製作講習會は毎日四十餘名受講してゐるが今二十日午後一時から終了式を擧行、商工省工藝指導所大原彪氏、縣商工課針谷技手の講評があつた

## 天氣豫報
（小名濱測候所觀測）

今晩は北西の風雨

明日は北西の風雨後曇

天氣次第によくなる

## 區長會

平町區長會は既報の如く二十二日午前十時から平町會議事堂に開かれるが提出事項左の如し

水道給水工事　申告書配布並に提出方（町稅關係）區費整理節約　青年學校生徒勸誘　尙十二年度青年學校入學生徒は大正十二年四月一日から同十二年三月三十一日迄生れのもの

## 募集

少年工場員　二名

小學卒業程度のものにして町內居住者に限る、履歷書送付あれ、面會日通知す

本社

## 傷害致死に七年
### 植田町の高原新助
### 前審通り求刑さる

植田町本町料理業高原新助（四二）に係る傷害致死賭博常習事件は宮城控訴院で金津裁判長係で審理中十九日事實審理を終り關川檢事から前審通り懲役七年を求刑された

高原は昨年暮居住宅附近の賭場に出入りしてゐる中同町竹水有と衝突遂に亂鬪の上殺害したもの判決言渡しは來る三十一日

。。。。農試分場視察　安積郡日日より三日間神谷農試分場を視察

。。。。平驛員出張　平驛竹內助役、東條書記は二十三日から上野、新橋、千葉の各運輸事務所管內の驛務視察に出張、又同驛操車係十名は二十六日午前十時から原町驛で催される仙鐵管內の操車技術競技を見學

出山青年團員十五名は二十

中等教科書　國定教科書　學習各種辭書　各種全科あるい

小學生ランドセル　カバン・手提類　和洋帳簿各種

特賣　パイロット萬年筆　景品付ネーム入　御入學、御卒業　記念にアルバム

マルトモ　柴田書店　平町四丁目　電話｛一二四番　二三四番｝

。。除隊。平町北目町田山實君は滿洲國資源部隊を除隊二十日午後四時四十三分平着で歸平

二十一日（小名濱測候所發表）

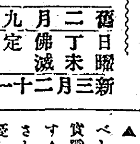
滿潮　前九、二五　後―

干潮　前―　後六、三〇

二十二日

滿潮　前一〇、〇〇　後一一、五〇

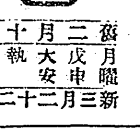
干潮　前七、〇〇　後七、五〇



新三月二十一日　日曜　舊二月九日　丁未　佛滅　定　昴宿

諸判定總籍　東京市本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠宿

▲一白　願望意の如くならず却て困難再發の恐あり▲二黑　一事に専念して多事を排すべし病怪我注意▲三碧　平生の努力に報はるゝも新規計畫は止めよ▲四綠　努する割に効現はれず定業に安んずべき日▲五黃　地位を固く守りて上下の親交を深ふすべし▲六白　氣運のかなるに乘じ勇やくすべき日功績あがる▲七赤　氣力を更に奮ひ起てゝ努むれば大望も成る▲八白　一歩は一歩とちから足をふみ締めて前進すべし▲九紫　萬事向上發展すべき日開店普請移轉旅行吉



新三月二十二日　月曜　舊二月十日　戊申　大安　執　畢宿

▲一白　勇躍突進して益々榮達すべし文書調印注意▲二黑　計畫の實踐にふみ出すべき日次第に發展す▲三碧　終日をこんらんに過ごさんとす又病厄盜難注意▲四綠　變を內にふくめ共喜び外より來らんとする日▲五黃　多少の不利は忍びて圓滿に解決するが得策▲六白　自由氣儘は失敗に歸する事あり病難に注意▲七赤　賭事進んで妨げ無く利益を舉げ得べき吉日▲八白　多少の障がいは排除し事業に執着して突進吉▲九紫　些細なるふんぜうも後には大傷の基となる警戒

大特賣中

自轉車、リヤカー、タイヤー。チユウブ

フタバ商會　平・新川町郵便局前

診療科目

一、齒科一般

一、口腔外科

內郷村大字內町字小ノ田六四（內郷第二小學校前）

日本大學齒科醫學士　齊藤定輔

齊藤齒科醫院

求ム　看護婦或ハ見習看護婦

耳鼻咽喉科專門

醫學士　鈴木正

平町田町（電話五八番）藤田女學校前

『入院のお需めに應ず』（看護婦及び見習看護婦募集）

齒科口腔外科

日本齒科醫學士　鈴木喜政

內郷村高坂磐炭病院前

鈴木醫院